

品川区教育委員会会議記録

平成 26 年 第 11 回 定例会

場 所 教育委員室
期 日 平成 26 年 7 月 8 日
開 会 午後 1 時 30 分
閉 会 午後 3 時 34 分

出席委員	委 員 長	鈴木 敏夫
	委員長職務代理者	市川 信之助
	委 員	波多野 美佳
	委 員	菅谷 正美
	教 育 長	中島 豊
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	田村 信二
	庶務課長事務取扱	教育次長 田村 信二
	学 務 課 長	野呂瀬 久
	指 導 課 長	渋谷 正宏
	学校支援担当課長	村尾 勝利
	品川図書館長	中元 康子

<p>議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 署名委員に波多野委員、菅谷委員を指名。 ・ 日程第3 報告事項3「都費教職員の任免等に関する内申について（休職）」は品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。
---	--

<p>件名</p>	<p>日程第1 報告事項1 教育委員会事務局幹部職員の人事異動について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(教育次長) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>事務局説明</p>	<p>特になし</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項1 教育委員会事務事業の点検および評価について(学識経験者への意見聴取事業の選定)</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(教育次長) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員A) ・ 学識経験者に意見を求める事業として、「区固有教員の採用について」は、人事案件に関わるところもあるが、意見を頂けるのはありがたい。一方、「スチューデント・シティおよびファイナンス・パークについて」は、委託事業であるため、学識経験者からプログラム内容等の修正意見を頂いても改善が難しいところがあると感じるが、事務局としてはどう考えているか。</p> <p>(委員C) ・ スチューデント・シティおよびファイナンス・パークは、いつから始めているのか。また、委託事業者は1事業者のみのなのか。</p> <p>(委員A) ・ 「スチューデント・シティおよびファイナンス・パークについて」は、プログラムの内容の変更は難しいため、市民科における位置付けとして意見を頂いてはどうか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(教育次長) ・ 「スチューデント・シティおよびファイナンス・パークについて」は、委託事業であるため、一定程度、事業者の裁量に任せている部分もあり、プログラムが固定化しているところもある。学識経験者には、プログラム内容ではなく、事業の活用方法や今後の方向性などの観点から意見を頂くことは可能と考えている。</p> <p>(指導課長) ・ スチューデント・シティは平成15年度から、ファイナンス・パークは平成18年度からプログラムを開始しており、CAPSなども含めてキャリア教育の体系づくりを行っている。また、委託事業者は、ジュニアアチーブメントのみがプログラムを持っているため、1事業者のみに委託している。</p> <p>・ 「スチューデント・シティおよびファイナンス・パークについて」、プログラム内容を変更することになると、市民科の授業時数にも大きな影響が生じてくる。しかし、市民科における位置付けとしての観点から意見を頂くことであれば特段問題はないため、CAPSなどを含めた外部団体に委託している事業全般について意見を頂きたいと考えている。</p> <p>(教育次長) ・ 「スチューデント・シティおよびファイナンス・パークについて」は、学識経験者の意向も踏まえつつ、市民科の授業で実施している委託事業全般について総括的な意見を頂けるよう調整したい。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員E) ・ 品川区のスチューデント・シティやファイナンス・パークのプログラム内容は、先進的であり素晴らしいと感じるが、なかなか普及していかないところもある。学識経験者に意見を頂くことで、改めて原点から見直す良い機会であると感じる。</p>

議事結果	了承
------	----

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項2 平成27年度品川区立小学校等使用教科用図書の仮採択について（生活）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(指導課長) ・ 指導主事より説明する (指導主事) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>事務局説明</p>	<p>特になし</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員 E) ・ G社の1年生の最初の頁には、小学校の学校生活などについて具体的な学習内容の記載がある。しかし、男女のイラストに固有名詞で名前が付されているため、固有名詞の名前の記載が入っていない教科書のほうが良いと感じる。</p> <p>(委員 A) ・ G社の1年生の最初の頁は、小学校の学校生活の導入部分が重点的に記載されており良い印象を受けるが、男女のイラストに固有名詞の名前を記載することについては改善の余地がある。</p> <p>(委員 E) ・ 小学校1年生にとって、生活科はなかなか馴染みの薄い教科であるが、B社は最初の単元で、小学校の学校生活などについて、イラストや頁数を多く取り上げており、市民科の内容にも繋がりを感ぜられる。</p> <p>(委員 A) ・ 1年生の生活科では、「気づき」の部分が非常に大切になってくる。市民科との繋がりもポイントではあるが、まずは、生活科に入り込みやすい教科書が良いのではと考える。その点を考慮すると、A社は「せいかつたんけんブック」、G社は「ポケット図かん」の資料があり、子どもたちも入り込みやすいと感じる。</p> <p>(委員 E) ・ A社の「せいかつたんけんブック」、G社の「ポケット図かん」とも、非常に良くできている。しかし、このような資料を作成するのは、担任の先生が基本だと考える。最初から良くできた教科書を先生に配布すると、その教科書に頼りすぎてしまう心配がある。生活科は、子どもたちの発想を大切にすることが重要であり、学びの中で、子どもたちがどう表現していくかが大切である。また、次の学年に繋がるような教科書が使いやすいのではと考える。</p> <p>(委員 C) ・ 近年、社会人になっても手紙を書けない人が増えている。D社、E社には、手紙の書き方の記載があり、分かりやすい印象を受ける。特にE社は、全体的に教科書が見やすく構成されており、重要な箇所を押さえていると感じる。</p> <p>(委員 A) ・ 生活科は、学びの中で理科や社会科に繋げていくことが重要である。</p>

	<p>C社、E社、G社は、新聞やニュース、手紙など子どもたちが表現力を養っていく上での記載内容がある。</p> <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査基準の地域性の項目では、地域での安全や安心、防災などにしっかり触れている教科書が重要である。各社とも非常によく記載されているが、特にE社は、その事項が網羅されており、「気付き」を高められる点、また、地域から学べる要素が含まれて使いやすい印象を受ける。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域での安全や安心は、低学年には学校でも指導しており重要な事項である。B社、D社、E社、G社は場面ごとに記載されているため、指導がしやすい教科書だと感じる。この中で、品川区の特徴に合致し、ポイントを押さえている教科書はE社とG社ではないかと感じる。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に使いやすい教科書は、E社だと感じる。E社には、微妙な細かさがあり、子どもたちの活動内容をしっかり捉えている様子が伺える。D社、G社は、学習内容の記載は問題ないが、色の薄いイラストや濃いイラストが混在しているため、若干、読みにくい印象がある。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> E社を推す意見が多い。E社で仮決定したい。 <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> 異議なし
議事結果	生活はE社に仮決定する。

<p>件名</p>	<p>日程第1 協議事項2 平成27年度品川区立小学校等使用教科用図書の仮採択について（図工）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(指導課長) ・ 指導主事より説明する (指導主事) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>事務局説明</p>	<p>特になし</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員E) ・ A社、B社とも大きな差異はないと感じる。粘土の单元について、A社は綺麗な作品が掲載されており、B社は砂と戯れながら作品を作り上げる様子が伺える。編集の方針だと思うが、子どもたちは初めから良い作品を作ることはできないため、発達段階に応じた学習内容を考えると、B社のほうが感性や表現力を高める上で指導しやすい感じがする。</p> <p>(委員A) ・ A社は作品ベース、B社は活動ベースで教科書が構成されている感じがある。1～4年生は活動として学習を捉えていくことが重要であり、高学年では、作品導入の手法もあって良いと思う。重点を低学年もしくは高学年に置くかということも考えなければならない。</p> <p>(委員C) ・ 第一印象としては、B社はみんなで作り上げる印象があり、楽しみながら授業に取り組める様子が伺える。A社は各自が作品を作り、各自がどう考えるかという印象を受ける。</p> <p>(委員D) ・ A社は、作品についての振り返りの項目が設定され、B社は、作品を作り上げる上での目標設定がある。各社とも大きな差異は感じられないが、B社の風神・雷神の写真は、非常に迫力が感じられる。</p> <p>(委員C) ・ 教育的な観点ではないが、B社の風神・雷神の写真は鮮やかさが素晴らしい。</p> <p>(委員A) ・ 図工については、感じる力を養うことが重要である。子どもたちが作品を作り上げる中で、どのような印象を持たせ、どう働きかけをしていくかが大切である。また、図工の授業は、用具や工具を使用するため、怪我などにも配慮することが必要である。近年、若い教員も多い中、用具や工具の使い方を知らない教員もいるため、子どもたちのみならず、教員も教科書から学んでいくことが大事である。その点を踏まえると、A社、B社とも、のこぎりの使い方の記載があり、B社は図柄も大きくポイントを押さえている。</p> <p>(委員B) ・ B社を推す意見が多い。B社で仮決定したい。</p>

	(委員一同) ・ 異議なし
議事結果	図工はB社で仮決定する。

<p>件名</p>	<p>日程第1 協議事項2 平成27年度品川区立小学校等使用教科用図書仮採択について（音楽）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長） ・ 指導主事より説明する （指導主事） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>事務局説明</p>	<p>特になし</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>（委員E） ・ B社は、表紙から中身まで非常に色彩が鮮やかである。音楽の授業は、授業時数が少ない中で、特にリコーダーの指導は難しいと考える。この点を踏まえると、B社は、リコーダーの扱い方などの単元の並びが多い反面、内容を詰め込みすぎている感じが伺える。また、B社には、教科書内に下敷きのようなセルが挟み込まれており、音楽の授業とは本質が異なると感じる。音楽のような専門的な分野については、A社のほうが子ども向きであり、先生が指導しやすい印象がある。</p> <p>（委員D） ・ B社は、君が代の頁にさざれ石の写真が掲載されており、目新しい感じがする。過去の教科書には、さざれ石の写真が掲載されていたことはなかったと記憶している。写真の迫力などから見るとB社が見やすい印象を受ける。しかし、音楽の専科ではない先生の立場を考えると、A社のほうが一般的であり指導しやすい感じがする。</p> <p>（委員A） ・ A社、B社とも、学習指導要領の基準を満たしており、素晴らしい出来である。B社は、オーケストラの写真が大きく掲載されており、5年生になると音楽鑑賞教室もあり参考になる。また、国歌の頁も紙質を他の頁と変えることで特徴を出している。しかし、音楽の低学年の授業は、専科ではない先生が教えることが多いため、指導する立場を考えると、一般的な題材を多く使用しているA社のほうが使いやすい感じがする。</p> <p>（委員C） ・ B社は、リコーダー練習の楽譜の頁に2頁を使用し、また、国歌の頁にはさざれ石の写真も掲載するなど、細かい記載がされている。しかし、低学年の音楽の授業は、専科ではない先生が教えることを考慮すると、題材に多くの頁を使用しているA社のほうが指導しやすいと思う。また、A社は、音符の記載練習もできる工夫がされている。</p> <p>（委員B） ・ 第一印象として、音楽の授業に楽しく取り組めるのはB社であり、学校の先生が指導しやすいのはA社であると感じる。A社は、箏の記載の中で、座る位置などの説明もあり、慣れない楽器を使用する上では、先生も教えやすいと思う。</p> <p>（委員B） ・ A社を推す意見が多い。A社で仮決定したい。</p>

	(委員一同) ・ 異議なし
議事結果	音楽はA社で仮決定する。

件名	日程第3 報告事項2 平成25年度後期一般監査の結果について
担当課説明等	(教育次長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	(委員B) ・ 毒物劇物の管理については、例年、指摘されている事項であるため、 取扱いについて管理を徹底するようにお願いしたい。
議事結果	了承

件名	日程第3 報告事項3 都費教職員の任免等に関する内申について（休職）
担当課説明等	
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。